



情報科学高校 大分県内初 情報の専門学科 デジタル創造科(情報科)

2023年4月より大分県内初、情報の専門学科 デジタル創造科が始動した。今回取材協力してくれた西村一心さんと猪俣月香さんは、共に1年生でデジタル創造科1期生である。

デジタル創造科は、2クラス80名の生徒と教員が一丸となって、高度な情報技術や情報セキュリティなどを学び、ITパスポートの全員合格を目指している。



西村さん

中学校で学校のパンフレットをみて、新しい学科ができることを知り、システムエンジニアになりたいので、デジタル創造科を受験した。

志望動機は?

パソコンを活かす仕事をしたい。今は、進学予定だけど在学中に進路を決めていきたい。

卒業後の進路や夢は?

野球部の試合(1年生のみ)で勝ったこと。1年生大会に向けて部活動も頑張っている。

最近うれしかったことは?

猪俣さん

パソコンを使いこなしている母の姿を見て、母校の情報科学に行きたいと思い、さらに新学科ができることを知って「行くしかない」と受験した。

企業訪問をした際、システムエンジニアとプログラマーの違いを聞き、もっと知りたいと思った。就職希望で、まずはITパスポートを取得したい。

ドローンサッカー部の大会で優勝したこと。ドローンサッカーがとっても楽しいと目を輝かせていた。

2人共、中学までの学習と違い、専門教科の聞き慣れない用語や今までの知識が通用しないと新しい学科の授業の難しさを話してくれた。学校には機械やパソコンなど設備が充実している。また、外部講師による特別講習で新たな学びに出会い、講習後のグループワークで話し合い、知識や思考を共有している。



Facebook

大分東高校

総合選択の魅力 学科を超えた学びへ

普通科と農業科のある大分東高等学校で取材してきました。

3年普通科 野間 俊平さん・3年園芸デザイン科 松原 星香さん

3年園芸ビジネス科 小野 心愛さん・3年園芸ビジネス科 佐藤ひかりさん

が取材に対応してくれました。



東高校に進学した動機などを聞いたところ、まだ将来設計ができてなくても普通科と技術系とどちらもあり高校の学びの中で見つけられると思った。また農業系に対する学びが充実しているのも志望した理由と笑顔で答えてくれました。

選択総合の授業時間もあり、専門の知識を学科を超えて学習できる環境も整えられています。

進路のサポートも充実しており「開かれた進路指導室」では生徒はもとより保護者も訪れるようになってきている。とにこやかに話をしてくれました。

近年では新規企業先の開拓にも尽力されており、今年度は超一流企業様への就職内定をいただいていますと担当の先生の顔が緩んでいました。

農業クラブの活動では文部科学省が進める三カ年のマイスターハイスクール事業に取り組んでいる。地元企業などと協力し人手不足が懸念される農業にITなどを活用した、まさに未来のスマート農業を視野に日々、研究に力を注いでいる。

現在はイチゴの大きさや形、糖度などを自動選別できるよう、ドローンを使って撮影した膨大なデータを取り込む開発に携わっています。1月21日には、農業の甲子園とも言われるアグリテック甲子園2023に出場します。発表で気持ちを伝えられるよう頑張りたい。私たちの取り組んだ研究がどう評価されるか楽しみです。と意気込みを語ってくれました。

PTA会長にお話を聞き、毎年農大と専門学校の訪問など子どもたちの進路の後押しができる体制づくりに、保護者の関心も大きいとおっしゃっていました。未来ある子どもたちのことを教職員と共に考えているPTAに共感しました。



HP

国東高校

日本で最も宇宙に近い高校 鍛え磨く・探る・挑む

2024年度より開設されるSPACEコースについて中川教頭にお話を伺いました。

S: STEAM P: PASSION情熱 A: ACTION行動 C: COURAGE勇氣 E: ENGINE原動力の頭文字からSPACEコースと名付けました。先行実施として本年度から1年生全員での宇宙STEAM探究がはじまっています。と目を輝かせて説明してくれました。

宇宙視点で物事を捉え考え、地球課題に向き合い、新たな価値を創造し地域・日本・世界のリーダーとなる人材育成を目指した、KUNIのSAKIを考える教育プログラムのこと。

実際に授業で学習した内容を生徒さんが発表する動画を見せていただきました。



宇宙STEAM探究インタビューの内容

■今日授業で作っていたものはどんなものですか?

1年 女子生徒 宇宙でしたい事を班のみんなで考え、大分で有名な温泉が宇宙があればいいなと思い温泉を作っています。

1年 男子生徒 地球で走っている車みたいに空を飛ぶ自動で運転してくれるAIの車を作ってみました。

■「答えのない授業」はどうでしたか?

1年 女子生徒 自分たちで作っていくのは楽しいです。

1年 男子生徒 普段は答えのある問題を解いてるけど今回答えのない問題を考えるのは楽しかったです。

■授業で習う宇宙は楽しいですか?

1年 女子生徒 普段、宇宙といえば遠い存在に感じていたのですが、今回の授業を通してより身近な存在に感じて楽しいです。

1年 男子生徒 宇宙にあるものを学べてよかったです。

国東高校では、普通科と専門学科があり少人数で楽しく授業を受け、総合選択科目では互いの学科の生徒と意見交換が出来たり生徒にとって新たな気づきが生まれたりします。未来を創造する可能性を感じられる...そんな印象を受けました。



HP

津久見高校

津久見市を守る 津高生

昨年度、大分県の工業系高校が競う「生徒研修成果発表大会」に於いて、「フロートスイッチを利用した『災害検知型雨量計』」について発表し、最優秀賞を受賞した。

今回、取材協力してくれた3年生の中津留佑典さん、中島悠翔さん、寺尾利駆さんたちは、今年、それぞれのテーマで研究をしながらも、卒業した先輩方の「災害検知型雨量計」の研究成果について各地で代理発表をしている。



★災害検知型雨量計とは

容器に溜まった水量をフロートスイッチで感知し、その信号をArduinoマイコンに送り、通信モジュールを使って、LINEに「避難してください」とメッセージが表示されるシステム。

★津久見市とコラボした経緯

昨年4月、彼らの先輩達が課題研究の題材を探しに市役所へ出向いたところ、「災害(水害)予防に役立つものが欲しい」と相談を受けて研究がスタートした。

★研究をしていて楽しかったこと

徐々に成果が出るのが楽しい。達成感がある。3人とも就職するが、高校生活の3年間は十分楽しんだので、卒業後の不安はなく、「人生を楽しむ」と前向きでした。

★津久見高校の良いところ

普通科・商業科・工業科と3学科あり、選択科目で学科を超えた学習や、資格取得が可能である。課題研究では各科で役割分担をしていて、まず、普通科が情報収集のため地域の方に話を聞き、それを元に工業科が研究・製作する。出来上がった製品を商業科がクラウドファンディング等を活用して広めていく。

津久見高校では、ホームページをはじめ、Facebook や Instaguram などの SNS でも学校の魅力を発信している。



Facebook



Instaguram